鶴報

第２５４号
2024年12月20日

日本大学鶴ヶ丘高等学校　広報部
東京都杉並区和泉２－26－12
TEL　03−3322−7521（代）
https://www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp



鶴ヶ丘祭

学　校　行　事　《第２学期》

９月１日　始業式・防災学習
３日　相互授業参観重点期間（～14日）
４日　１・２年 スタディーサポート
３年総進コース 基礎学力到達度テスト模擬
３年 大学入学共通テスト説明会
５日　塾対象入試学校説明会（～６日）
８日　３年特進コース・総進コース（希望者）
駿台・ベネッセ大学入学共通テスト模試会場受験
11日　２年 生徒対象修学旅行説明会
13日　生徒会役員選挙
20日　１年 高大連携教育（学部見学）
26日　３年 基礎学力到達度テスト
27日　生徒総会（後期）
28日　２年 保護者対象修学旅行説明会
Grace Japan Tour（～10月１日）
10月４日　日本大学創立記念日
７日　３年総進コース 三者面談（～９日）
８日　３年特進コース・総進コース（希望者）
ベネッセ・駿台記述模試（～９日）
10日　１・２年 中間試験（～15日）
19日　第１回受験生保護者対象入試学校説明会
23日　２年 生徒対象進路説明会
26日　１年 進路説明会
31日　体育祭
11月２日　第２回受験生保護者対象入試学校説明会
３日　３年特進コース・総進コース（希望者）
ベネッセ・駿台共通テスト模試会場受験
６日　２年 生徒対象修学旅行説明会
７日　２年特進コース 記述模試（～８日）
８日　１年特進コース・総進コース（希望者）記述模試
９日　３年 期末試験（～12日）
同窓会総会
13日　１・２年 三者面談（～15日）
16日　第３回受験生保護者対象入試学校説明会
18日　１・２年 コース選択最終締切
19日　３年特進コース 特別選択授業開始
３年総進コース 新時間割Ⅰ期開始
28日　２年 期末試験（～12月２日）
12月２日　３年特進コース・総進コース(希望者) 三者面談(～７日)
４日　２年 修学旅行　先発班出発（～８日）
５日　２年 修学旅行　後発班出発（～９日）
１年 期末試験（～９日）
11日　答案解説授業（～12日）
20日　終業式
23日　２年特進コース「情報Ⅰ」勉強会（～26日）

第71回鶴ヶ丘祭

開催日 2024年6月22日・23日

テーマ　カラフル
～真っ白なキャンバスに君色を～







第七十一回鶴ヶ丘祭によせて

学校長　川原　容子



みなさま こんにちは

令和六年度第七十一回鶴ヶ丘祭へご来場いただき誠にありがとうございます。

本年度のテーマ「カラフル ～真っ白なキャンバスに君色を～」

学校での文化祭の企画・運営は、ある意味ゼロ（**真っ白なキャンバス**）からのスタートです。日程・地域・校舎の構造など制限もあり、挑戦できることも無限ではありません。

しかし、縁あって集まった一一六五名の仲間から出てくるアイデアを**色**に例えると、どんな景色が待っているのかワクワクしています。鶴高生がどんな世界を創り出せるのか期待しているからです。

今年の本校の全生徒・全教職員の目標は『**対話と協働**』です。

時に、あまり出してほしくない色もあって戸惑う場面や、塗りつぶしたくなる衝動にかられてしまうこともあるかもしれません。しかし、そうした時こそ話し合っていくことをあきらめないで欲しいと思います。

大変な時こそ、見捨てずに声をかけ、一緒に創ることを楽しんでいって欲しいと思います。

多様性を認め合うとはそう簡単なことではありません。しかし、学校という社会の縮図の中で、失敗しながら大いに挑戦をしていきましょう。

挑戦の際は、デジタルを介在させず、アナログで直接ぶつかっていくことも大切です。むしろ未来の社会においては、こうした経験が、あなた自身の強みになるはずです。

当日は、気持ちのこもったおもてなしで、お客様たちに出来上がった作品を観ていただけるようにしていきましょう。

気持ちの良い挨拶が出来るのはもちろんですが、手助けが必要な方への配慮や気配りも忘れないようにしていきましょう。

結びになりますが、この鶴ヶ丘祭開催にご協力くださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

鶴ヶ丘祭

生徒会指導部主任　久保田善政

六月二十二日（土）・二十三日（日）の日程で、本校文化祭、第七十一回鶴ヶ丘祭が、「カラフル ～真っ白なキャンバスに君色を～」をテーマに開催された。梅雨時で一日目はにわか雨であったが、二日目には晴れ間も見え、二日間で五〇〇〇人を超える来場者をお迎えすることとなった。一年生は合唱コンクール、二年生が発表・参加型企画、三年生が模擬店、各クラブの企画やステージ発表、有志によるパフォーマンスなど、生徒たちはそれぞれの立場で大いに鶴ヶ丘高校最大のイベントを盛り上げていた。今回はコロナ禍で途絶えていた日本大学生物資源科学部による食品販売が復活。また、教職員有志による模擬店も出て、いずれも盛況であった。模擬店の売り上げは好調で、二日間で三十万円以上を売り上げるクラスもあった。この売り上げは、生徒会活動の活発化やユニセフ等への寄付で使うこととなっている。生徒や教職員だけでなく、同窓会や桜園会、保護者の皆様の協力もあって、大きな混乱は無く無事開催して終えることができた。実施企画は次の通りである。

第１学年　合唱祭

組	曲目
１年Ａ組	花の名前
１年Ｂ組	大地讃頌
１年Ｃ組	HEIWAの鐘
１年Ｄ組	ヒカリ
１年Ｅ組	虹
１年Ｆ組	COSMOS
１年Ｇ組	友 ～旅立ちの時～
１年Ｈ組	信じる
１年Ｉ組	-二十一世紀を生きる君たちへ- 決意
１年Ｊ組	時の旅人
有志	僕のこと
音楽選択者	ぜんぶ
学年全員	日本大学鶴ヶ丘高等学校校歌

第２学年　模擬店運営

企画団体	企画名
２年Ａ組	Midnight Go Round
２年Ｂ組	2-B それがいるクラス
２年Ｃ組	ぱー Tea たいむ ～青春の抽出～
２年Ｄ組	Big Stone Mountain
２年Ｅ組	ソードマスター ARASHI ～ファンタスティックエレガント～
２年Ｆ組	CASINO in Tsuru Vegas
２年Ｇ組	変な墓 ～ under the hill ～
２年Ｈ組	yocoastar
２年Ｉ組	MORIOKART 9
２年Ｊ組	ドキドキスケーティング ～キミとボクの恋物語～
２年Ｋ組	ドキドキ♡ポリス ～ダニエルからの脱出K画～
２年Ｌ組	CASINO Queen

第３学年　飲食店運営

企画団体	企画名
３年Ａ組	鹿さんのケバーランド
３年Ｂ組	Bong-cha
３年Ｃ組	おいでよ！ ちびっこーん！
３年Ｄ組	餃子の王舘
３年Ｅ組	E焼きそば
３年Ｆ組	なおこおねえさんの チュロス屋さん
３年Ｇ組	GOD GOOD HOT DOG
３年Ｈ組	鳥将軍　かんちゃん
３年Ｉ組	Ｉ席食堂
３年Ｊ組	ベビカスの森

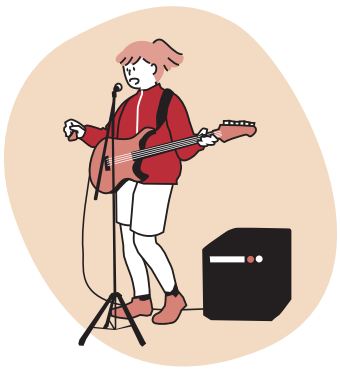
各種団体企画

企画団体	企画名
書道部	『虹』展示＆パフォーマンス
芸術科（美術）	木彫作品展
サイエンス部	Magical Science 魔法×科学
茶華道部	茶会
情報部	『すき』に色をつけるデジタルの最先端ブース
写真部	写真館 -2024-
英語部	English Café
弓道部	的当てゲーム
演劇部	『演劇公演!!』
桜園会	各種飲料とお菓子の販売
同窓会	卒業アルバム等展示
茶華道部	華展
料理部	チョコパイ

企画団体	企画名
吹奏楽部	吹奏楽LIVE LIVE 2024
ダンス同好会	“DOBASHI”☆“DOBASHI”
空手道部	演武
バトントワリング部	Starry wings
カラーガード部	Magic -日常に潜む魔法-
有志	バンド・ダンス・お笑いGP
有志	青空ライブ
図書館	古雑誌と古本の無料配布
日本大学生物資源科学部	ハムソーセージ販売　※１日目22日㈯のみ
厚生委員会	日本赤十字社　献血　※２日目23日㈰のみ
教職員有志	かきごおりやさん
放送部	Acoustic Producer

中夜祭

団体名	メンバー	企画
Little blue monster	3B佐々木／3F森・岩田・藪野／3G髙田	歌
せせりとはつ	2C平石／2G岩本	ダンス
鶴の神シスターズ	2D森本／2H萩原	ダンス
rlnarla	3A関／3B武居	歌
Be小町	3F藪野／3G中村・吉田／3H佐々木・益子・豊住	歌&ダンス
infinity	3F元木／3G吉井	ダンス
ロケッツ	3A伊藤・関／3B中川・？？？	ダンス
堅あげバナナ	3G小野・木島	歌
Want U	3A関／3F齋藤／3G小野／3H須崎・粕谷	ダンス
チョコベイビー	2C濱中／2D朝里／2F山中／3D池田／3F出町・黒柳	ダンス
Parva lux	１Ｉ古平・石井	歌



第七十一回鶴ヶ丘祭によせて

鶴ヶ丘祭実行委員長
三Ｄ　直吉　淳樹（浅間中）

今年も地域の方々や保護者の皆様、先生方のご協力のもと、無事に鶴ヶ丘祭を実施できたこと、心より御礼申し上げます。

今年度のテーマは〝カラフル～真っ白なキャンバスに君色を～〟です。みなさん一人一人が自分の中に持っている様々な個性。それらを色に見立て、鶴ヶ丘祭を君色（君の個性）で溢れさせて欲しい、という思いを込めました。

今年は昨年開催された中夜祭に加えてスタンプラリーやクラス企画、Tシャツ展示を新しく実施しました。より一層パワーアップした鶴ヶ丘祭を皆さんに楽しんでいただけたのであれば幸いです！

最後に、鶴ヶ丘祭実行委員や生徒会、全校生徒の皆さんご協力ありがとうございました。準備をする中で仲間とすれ違い、ぶつかり合い、うまくいかなかったこともあったと思います。それでも鶴ヶ丘祭を完成させることができたのはみなさんのおかげです！

オーストラリア海外語学研修

【7月27日～8月18日】

引率　英語科　山内　智史

今年度は15名で、Australia, Brisbaneにある姉妹校Grace Lutheran Collegeへと向かった。緊張の面持ちでHost Familyと対面した初日から、最後の涙の別れまでの全日程を、全員で有意義に過ごすことができた。

現地の授業やHost Familyとの生活の中で積極的に行動することで、英語で理解し伝えるという姿勢が自然に身に付き、習慣や生活に徐々に適応する中で、明日になるのがとても楽しみになっていた。学校を離れてのアクティビティーや週末のHost Familyと過ごす時間には、広大な土地、大自然の中で、東京ではできないこと、見られないものを数多く経験したようであった。そのような中で見た満天の星空は、生涯忘れられないものとなったはずである。

また、授業の受け方や学校のルール、放課後や週末の過ごし方、家族で過ごす時間といったAustraliaの生活様式を、日本における自分のそれと重ね合わせていた。当たり前に思っていたことが当たり前ではないということ、「ふつう」というものが存在しない世界で、違いを受け入れ考え行動する広い視野や価値観を養うことができた。何よりも、自分を迎え入れ、たくさんの愛情や友情に満たされた日々に感謝し、感動していた。心は「言語（ことば）」を越え、人の繋がりに国境など存在しないということを体感できたことは、何事にも代えがたいものである。

彼らが得たこと、感じたこと、そしてAustraliaでの出逢いの全てが、これからの歩む道での指標となり、世界で生きる1人の人間としての礎となれば、この海外研修は過ごした時間以上に価値があるものとなる。

青空を見上げる度にAustraliaで過ごした日々を思い出し、彼らには「これから」を大切に過ごして欲しいと願う。出逢えた全てに、あの頃の自分に胸を張っていられるように。

（詳細は本校HPをご覧ください。）










ニュージーランド海外語学研修

【７月26日～８月18日】

引率　英語科　田口　裕基

今年のニュージーランド海外語学研修は、南島の中でも限りなく南下したところにある、人口4600人の町、バルクーサにあるサウスオタゴハイスクールで実施された。

10年前、オーストラリアコースに加えて始まったニュージーランドコースで新たに研修先となった学校である。ニュージーランドも、日本の夏休み期間が第３学期と重なり、現地の高校で実際に学校生活を送ることができる。

日本から15000キロ離れたバルクーサは南緯46度にあり、それを北緯にすると北海道の最北端の稚内よりもさらに北に位置する。南半球なので、７・８月は日本の１・２月にあたり、真冬である。これだけ聞くと、ダウンコートにマフラー、手袋、スノーブーツといった完全防寒モードが必須かと思われるが、さにあらず、最低気温が０度もしくは氷点下になることは滞在期間中ほとんどなく、最高気温は10度前後、そして雪は全く降らないし積もってもいなかった。現地校の生徒はもちろん、教員や町で見かける人々もコートやマフラーを身に付けているのをほとんど見かけなかった。

日本人ゼロ、日本人観光客ゼロ、日本語を喋れる人もゼロ。今時、様々な学校が語学研修を実施しているが、この環境は稀有である。英語漬けになるには最高の環境で３週間を過ごした15名（１年生13名、２年生２名）にとって、一生忘れられない、そして彼らの今後の人生に大きな影響を与える経験になったはずである。













オーストラリア３ヶ月留学報告

【６月22日～９月14日】

オーストラリア３ヶ月留学とは、従前より姉妹校契約を締結し、海外語学研修等で交流を行っているオーストラリアのGrace Lutheran Collegeへの約３ヶ月の短期交換留学です。

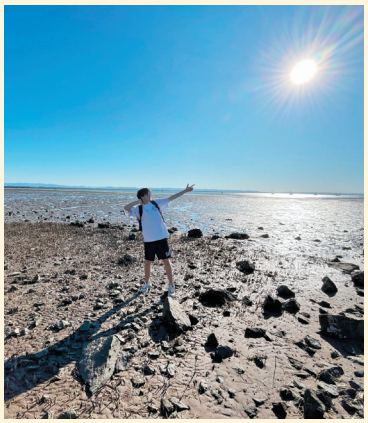
山本　凌大（2D・開進一中）

今回オーストラリア３ヶ月留学に参加させていただき、日本では出来ない様々な経験が出来ました。初めの２週間は語学学校に通い、そのあと現地の高校であるGrace Lutheran Collegeに通いました。その際にホームステイ先も変わりました。語学学校のBrowns English Language Schoolでは韓国・中国・ロシア・台湾などアジア圏を中心に様々な留学生が在籍していました。休み時間やフリータイムで自分の国について話したり、一緒にゲームをしたり、英語で会話したのが貴重な経験となりました。学校以外にも、最初のホームステイ先はブリスベンシティに近く、学校自体もシティの中にあったため、学校終わりなどにシティを散策し、日本との違いを感じることができました。

次に約２ヶ月半通ったGrace Lutheran Collegeについてです。ホームステイ先での日々や、様々な場所に行った思い出の中でも一番充実していたのは学校生活です。フレンドリーに話しかけてくれる友達や、自分が言ったことをしっかり理解してくれる友達がたくさんでき、楽しく毎日を過ごすことができました。日々の生活の中で、学校の時間割など大きくは日本と変わらないこともありますが、時間や食事のマナーに対する価値観の違いなど、多くの点から異国文化を体感出来ました。他にも、休日に海やブリスベンから離れた都市のゴールドコーストに行ったのが印象に残っています。

海外に行き、異国の文化と触れ合うことで、視野の広がりを実感出来ました。このオーストラリア留学は一生思い出に残る３ヶ月になりました。











ケンブリッジサマープログラムに参加して

【７月12日～29日】

ケンブリッジサマープログラムとは、日本大学の学術交流協定校である英国ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジの施設において日本大学付属高校生が共に生活を送り、同カレッジのプログラムによる英語、歴史及び文化の授業を受ける活動です。

巽　千佳（２K・豊玉二中）

このプログラムに参加していた他の学校の子のレベルの違いに驚いた。英語でユーモアを言える子やバイリンガルな子もいた。自分と同年代の生徒が高い水準の英語を実際に使っている姿を見ることができて、目標が明確になったと思う。また、しっかり英語が通じたことが知れてよかった。日本人にしか通じない英語になっているかもしれないという不安をなくすことができた。部活や勉強、課外活動に真剣に取り込んでいる人が多く参加していて、自分の視野が広がるのを感じた。

プログラムはとても充実していて、楽しかった。世界は自分が思っているよりも近くにあると実感でき、他の人と繋がることの大切さを知ることができた。私はこのプログラムに参加する前にオンライン英会話を２ヶ月ほどやっており、オンライン英会話は一対一で話すので、発語する力を向上させるのに役に立った。しかし、それだけでは育まれない能力もあった。大人数での話し合いや、現地の大学生と一緒に遊ぶといった貴重な体験はここでしか味わうことができないと思う。

堀　琉乃介（２L・三宿中）

ケンブリッジでの語学研修に参加したことは、私の人生の中で非常に貴重な経験となりました。まず、イギリスの文化を学べたことは大きな収穫でした。現地での生活や人々との触れ合いを通じ、教科書やインターネットでは得られないリアルな文化や慣習、雰囲気を体感できました。また、日本全国から集まった参加者やカナダ、中国など異なる国籍を持つ留学生の方々と交流することで、様々な価値観や考え方に触れることで、刺激を受け、自分の視野が大きく広がりました。特に、異なる背景を持つ方々との会話は、新しい視点を得るだけでなく、自分自身の文化や考え方を見つめ直すきっかけにもなりました。さらに、日々の授業や実践的な会話を通じて、英語の会話力の向上を実感できました。この研修を通じて、語学力だけでなく、人間としても成長できたと感じています。

このような得がたい経験をできるチャンスがあったことに心から感謝します。興味がある方は是非チャレンジしてください。









Grace Lutheran College JAPAN Tour at TSURUGAOKA

【９月29日～ 10月１日】







オーストラリアにある姉妹校GLCが実施しているJAPAN Tourの一環として、Grace校の生徒が鶴ヶ丘高校に来校しました。

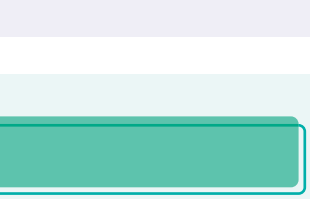
土曜日から月曜日まで２泊３日のHomestayでは、日本の文化・家庭・生活様式を体験し、Host Familyに色々な所へ連れて行ってもらい、東京の街を満喫したようでした。月曜日・火曜日はHost Familyの生徒がBuddyとなり、クラスの一員として６時間鶴高生として過ごし、放課後には剣道や茶華道の体験もしました。２日間と言う短い時間でしたが、オーストラリアと日本との学校の違いを発見し、目にする全てがとても新鮮なようでした。

夏休みのオーストラリア研修でお世話になった人たちを、今度は日本でHostとして受け入れることで、生徒同士の絆はさらに深まっていました。彼らが見せる友情の中に、長年積み上げてきた良好な学校関係が映し出されていました。（詳細は本校HPをご覧ください。）

羽島実果子（１E・駒沢中）

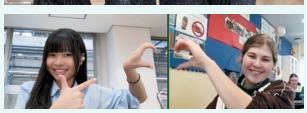
私はオーストラリアからの研修生アニカを２泊３日で受け入れました。アニカとはオーストラリアでバディとして一緒に授業を受け、鶴高で約１ヶ月ぶりに再会しました。その３日間のステイの中で一番の思い出は夜、布団の中で話したことです。内容は日本の友達とも話すようなたわいもないことですが、日本語と英語の両方を使って話しました。盛り上がり過ぎて母に「もう夜も遅いから静かに寝なさい。」と言われるほどでした。私はオーストラリア、日本という国を越えてアニカと本当の友達になれました。それはお互い、会話をしたいという気持ちが強かったからだと思います。さらに、拙い英語でも伝えたいと思う気持ちがあればその想いは伝わるということがわかりました。また、この受け入れを通じて自分から話しかけないと始まらないということに気がつきました。これからも自分から自信を持って話しかけられるように、英語の勉強を続けていきたいです。

田邉　葵（３C・日吉台中）



今回のGrace Japan Tour では、昨年の私のホストシスターが日本に来てくれました。今までも連絡は取り合っていましたが１年ぶりに再会できたことがとても嬉しかったです。日本食を沢山試したいとのことだったので、リクエストのお好み焼きを作ったり回転寿司に行ったりしました。えんがわを特に気にいってくれました。今回の交流で英語学習のモチベーションが上がったので、更に勉強して、これからの人生で様々な人とコミュニケーションをとることに活かしていきたいです。

Zoom Pal Project


令和６年８月22日に、Zoom Pal Projectを開催しました。このZoom Palはコロナ禍をきっかけに生まれたプロジェクトで、Grace Lutheran Collegeの日本語選択の生徒たちと、鶴高有志生徒によるオンライン国際交流です。Zoom Palではそれぞれの生徒に相棒＝buddyをマッチングし、２人だけのトークルームで会話をしていきます。今年も、お互いのことを知ることができるワークシートやアクティビティに取り組み、交流を深めることができました。

竹野　純（２E・美しが丘中）

私がZoom Palに参加したきっかけは、自分の英語力を試してみたい、実際に同世代の外国人と話してみたいという思いからでした。いざ話してみると会話が途切れてしまい、言語の壁に苦戦することもありました。しかし、互いにジェスチャーなども取り入れながら歩み寄ることで会話が続くようになり、大きな成長を感じました。今でも、バディとは連絡を取っており、良い交友関係を築けています。私はこのプロジェクトで英語を使って会話をする楽しさを学び、普段ではできない体験ができました。コロナ禍で生まれた新たな海外とのつながり方として素晴らしい機会となり感謝しています。

●全国大会出場記●

ウエイトリフティング部



令和六年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会・男子89kg級

三A　中川　颯真（瑞雲中）

【インターハイを終えて】

私は今回の全国大会でとても大事な事を学ぶことができました。それは「自信を持つ」ということです。私はこの大会で、入賞しメダルを取るという目標を持って必死で練習をしてきました。しかし、結果は九位で入賞すらできず終わってしまいました。それは、いざ勝負という場面で気が弱いまま挑んだからです。試合が終わってからは、本当に色々考えました。そして今の自分に一番必要なのは「自信を持つ」ということだと気付きました。これからの人生で競技はもちろん他の事でも大事なことなので胸に刻みたいと思います。



令和六年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会・男子96kg級

三D　稲葉　啓太（品川学園中）

【感謝のインターハイ】

私は夏休みに長崎県で行われたインターハイに出場しました。この大舞台で結果を残すためにこれまで練習を積み重ねてきました。しかし、七月の初めに怪我をしたときは絶望しました。それでも自分がやってきたことを信じた結果六位入賞を達成することができました。これは、監督、顧問、家族、仲間の支えがあったからできたことです。この経験を糧にこれからも精進していきます。



令和六年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会・男子81kg級

三E　小川　隼麻（滝野川紅葉中）

【最高のバーベル人生】

私は八月一日から長崎県で行われたインターハイに出場しました。

高校最後の試合ということもあり気合を入れて試技に臨みました。緊張もさほどなく、いい感覚でプラットに上がりましたが、目標重量を挙げられず自分の力不足と周囲の選手たちとの差を感じました。不甲斐ない結果に終わってしまいましたがインターハイという大舞台でやるウエイトリフティングはとても楽しく一生に残る思い出になりました。



令和六年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会・女子55kg級

三E　尾形　薫子（花小金井南中）

【有終の美】

私は長崎県で開催されたインターハイに出場しました。結果はスナッチは四位、クリーン&ジャークは三位で総合三位でした。三度目にして最後のインターハイ。必ず結果を出したいと思っていた分、怪我をした時は絶望感が募る毎日でした。それを乗り越え、掛けられたメダルに安心しました。これは家族や先生など周囲の人の支えがあってこそ取れたメダルです。ウエイトリフティング部で学んだかけがえのない経験を今後の人生に生かしていきます。



令和六年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会・女子59kg級

三C　宇佐美優香（荏原六中）

【最後の夏を終えて】

私は長崎県で開催されたインターハイに出場しました。結果は総合十二位と芳しくないものの、スナッ

チ、クリーン&ジャーク共に自己新記録を出せました。怪我をして不安の多い日々が続いたからこそ忘れられない瞬間になりました。三年間目標としたインターハイでこのような結果を残せたのは、家族や先生方、友人の支えがあったからだと思います。ウエイトリフティング部で経験した多くのことを今後の人生に活かしていきたいです。



テニス部

令和六年度全国高等学校総合体育大会
テニス競技大会

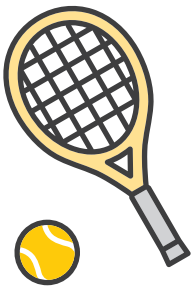
三D　佐藤　弘夏（神代中）

私は、令和六年度全国高等学校総合体育大会テニス競技大会に出場しました。

日大鶴ヶ丘高校の名前を背負って出る最後の大会でした。思い出のたくさん詰まったユニフォームを着て出る最後の大会、上位進出を目指して強い気持ちで出場しましたが今大会では思うように自分のプレーが出来ず、二回戦負けという悔しい結果で終わってしまいました。しかし、三年間日大鶴ヶ丘の選手として全国大会等に出られたことは私の誇りです。

顧問の先生方、部活の仲間、家族の支え、応援してくださった人達がいたからこそ、ここまで頑張ることができました。これからも応援してくださる方々に感謝して、次の目標に向かっていきたいと思います。





放送部

全国大会出場記　放送部

第七十一回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト
第四十八回全国高等学校総合文化祭（ぎふ総文二〇二四）

放送部顧問　近藤　明宏

昨年度同様、この夏、放送部は二つの全国大会への出場がかなった。一つはＮＨＫ杯全国高校放送コンテストである。都大会においてテレビドキュメント部門（作品名：針の落ちる未来　制作代表：竹野純）・ラジオドキュメント部門（スケルツァンドピアニスタ　制作代表：巽千佳）の二部門で入賞し、七月二十二～二十五日に東京で行われた大会に臨んだ。テレビドキュメントは、現在では稀有な存在になっているレコードなどのアナログ音源に焦点を当てて、デジタルストリーミング音楽配信があたりまえになった高校生に伝えるメッセージ性の高い作品である。ラジオドキュメントは、本校の談話室（購買）に設置されている誰でも弾けるピアノが生徒どうしを繋ぐ役割を果たしていることに着目した作品である。両作品とも入賞には至らなかったが、過去の先輩の結果の入選を超えたいという想いで来年度の捲土重来を目指す。



もう一つは、昨年十一月に開催された東京都高等学校文化祭オーディオメッセージ部門（作品名：よう、おい、木遣りやろうよ　制作代表：島倉優月）で、昨年に続いて連覇を果たし、ぎふ総文への切符を手に入れた。放送部門は、八月二・三日の二日間にわたって多治見市のバローホールで開催された。大会には、昨年度途中に転校した制作に携わった元部員も駆けつけてくれた。今年度から各部門の一位には文部科学大臣賞が授与される。昨年度に続き最高位を狙ったが、優秀作品が多いブロックに入ってしまい、その夢は来年度以降に引き継がれることとなった。両大会を通して全国の放送部員との交流も行うことができたのが部員にとっての何よりの収穫であった。



令和６年度特待生・奨学生

７月20日（土）に、本校図書館多目的ホールにおいて、今年度の日本大学特待生と、本校奨学生に対する授与式が保護者同伴のもと行われました。

日本大学特待生

３Ａ	境　翔汰	(山内中)
３Ｆ	塚本　桃々	(堅川中)
２Ｇ	番場　小夏	(南菅中)
２Ｈ	大幸　初咲	(浅間中)

日本大学鶴ヶ丘高等学校奨学生

◎第一種

３Ｃ	島倉　優月	(宮内中)
３Ｊ	石丸尾　寛大	(武蔵野三中)
３Ｊ	長尾　歩実	(調布七中)
３Ｊ	原田　辰輝	(北沢中)
２Ｊ	椙杜　美月	(荏原六中)
２Ｌ	影山　裕己	(調布八中)
２Ｌ	堀尾　涼花	(稲田中)
２Ｌ	松浦　大樹	(高井戸中)

◎第二種

１Ｄ	飯倉　茉莉	(新宿中)
１Ｆ	濱本　結月	(駒留中)
１Ｈ	宮内　翔子	(宮前中)
１Ｊ	江本　紬	(笹塚中)
１Ｊ	長谷　玲奈	(生田中)
１Ｊ	松川　実穂	(笹塚中)

日本大学鶴ヶ丘高等学校英明奨学生

◎第一種

３Ｄ	池田　倫	(烏山中)
３Ｇ	宮崎いちは	(松が谷中)
３Ｊ	塩澤　咲乃	(府中三中)
３Ｊ	山田心々菜	(用賀中)
２Ｂ	古川　敦也	(深川三中)
２Ｌ	吉本　新代	(松溪中)

２Ｌ	板倉　朱里	(三鷹四中)
２Ｌ	吉田　悠貴	(新羽中)
１Ｄ	宮田　結夏	(松ノ木中)
１Ｅ	菊地　南帆	(神明中)
１Ｅ	望月　日葵	(館中)
１Ｊ	廣江　彩月	(府中三中)



第57期 生徒会役員紹介



会　長　星　ひかり（二Ｌ・国分寺三中）

第五十七期生徒会役員会長の星ひかりです。昨年の生徒会活動の経験を活かし、全力で活動に取り組む所存です。今まで先輩方が築いてきたものを守りながら、新たな試みを取り入れ、更に素晴らしい学校に発展できるよう役員七名で努めていきます。今後とも応援よろしくお願いいたします。

副会長　重　こころ（一Ｄ・本所中）

私は中学時代の三年間、生徒会副会長として活動してきました。その経験を生かしながら、より良い学校づくりを目指していきます。また、風通しの良い学校生活のため、皆さんの声を積極的に取り入れて行きたいと思います。一年間よろしくお願いします。

副会長　千嶋　結心（一Ｅ・南菅中）

この度第五十七期生徒会副会長になりました千嶋結心です。

私はみなさんの懸け橋になりたいと思っています。みなさんの意見を反映させ、より良い学校生活となるように全力を尽くします。また、会長をしっかりと支えられるよう精一杯頑張っていきます。一年間よろしくお願いいたします。

書　記　新藤　寿乃（一Ｈ・北沢中）

この度第五十七期生徒会書記になりました新藤寿乃です。

「今回の生徒会は何か違う」と思われるように、指示を待つのではなく、自ら考え行動し、新しい事にどんどんチャレンジしていきたいと思っています。日本大学鶴ヶ丘高等学校がより良くなるように精一杯努めてまいります。一年間よろしくお願い致します。

書　記　金子　漣（一Ｉ・鴨志田中）

この度第五十七期生徒会書記になりました金子漣です。

私は生徒のみなさんの声がもっと学校全体に届くような環境づくりをしていきたいと考えています。今年の生徒会は一年生が多いですが、先輩を支えながら積極的に活動に参加していきたいと思います。一年間よろしくお願いします。

会　計　栗原　優真（一Ｅ・阿佐ヶ谷中）

この度第五十七期生徒会会計になりました栗原優真です。

私は生徒会役員であることに責任を持ち、この鶴高のためにできる最善の行動をとれるように尽力して行きたいと思います。

私はまだ鶴高について完全には理解できていませんが、なるべく鶴高を知り、問題を改善して行くことを目指します。一年間よろしくお願いします。

会　計　西山　綾乃（一Ｆ・清明学園中）

第五十七期生徒会会計に就任しました西山綾乃です。

この度はたくさんの信任投票をありがとうございました。会計として生徒会予算をしっかり管理し会の運営がスムーズに進むよう努力していきたいです。会長、副会長を支え、より良い鶴高をつくるよう尽力したいと考えています。不慣れなこともありますが精一杯頑張ってまいりますので、よろしくお願いします。

第16回　体育祭





生徒会指導部　久保田善政

第16回体育祭が10月31日（木）、日本大学生物資源科学部湘南キャンパスグラウンドにて開催された。この体育祭は、体育祭実行委員会と生徒会役員会を中心に、放送部や陸上競技部、料理部の協力も得て運営される。当日は体育祭で体を動かすにはとても相応しい気候であった。団体競技ではクラスが一丸となって一生懸命取り組む姿が見られ、応援合戦では、３年生を中心にした各団の創意工夫を凝らした熱いパフォーマンスに、生徒たちの大声援が加わって大きな盛り上がりを見せていた。各賞と学年競技の結果は次の通りである。







総合優勝：赤団
準優勝：青団

▶応援合戦

優　　秀　　賞：青団
輝いていたで賞：白団
面白かったで賞：赤団
頑張ったで賞：緑団

▶部活動対抗リレー

優勝　女子：女子バスケットボール部
　　男子：野球部・アメリカンフットボール部

▶学年競技

１年　台風の目
　　優勝：Ｉ組　２位：Ｇ組　３位：Ｂ組
　　クラス全員リレー
　　優勝：Ｈ組　２位：Ｉ組　３位：Ａ組
２年　大玉転がし
　　優勝：Ａ組　２位：Ｄ組　３位：Ｌ組
３年　ムカデ競走
　　優勝：Ｆ組　２位：Ｉ組　３位：Ｃ組

▶クラス対抗リレー

２年　優勝：Ｉ組　２位：Ｃ組　３位：Ｇ組
３年　優勝：Ｈ組　２位：Ｉ組　３位：Ａ組

















体育祭実行委員長
海老澤頼蔵（３Ｈ・府中三中）

私が１年生の体育祭の時、野球部の藤木先輩が体育祭実行委員長を務めていました。元々部活でもムードメーカーであった藤木先輩が、大きな声を出す訳でもないのに、１年生から３年生までの実行委員たちをまとめていく姿を見て、私は憧れを抱きました。機会に恵まれ、昨年も今年も私が実行委員長を務めさせていただきました。

昨年の体育祭は招集や運営に円滑さが欠け、大幅に終了予定時刻を延長してしまいました。その反省を生かし、今年はミスを未然に防ぐために、集合場所や並び方、ルールなどを各クラスの実行委員を通して事前に丁寧に説明して貰いました。その甲斐もあって今年の体育祭は時間通りに終えることができました。そればかりでなく、競技も応援も最高潮の盛り上がりを見せ、大変充実した体育祭を実施することができました。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

■放送部
▽第71回NHK杯全国高校放送コンテスト東京都大会（６/２・６/16）
【テレビドキュメント部門】　第３位　※全国大会出場
針の落ちる未来
制作代表：竹野　　純（２E・美しが丘中）
【ラジオドキュメント部門】　第４位　※全国大会出場
スケルツァンド　ピアニスタ
制作代表：巽　　千佳（２K・豊玉二中）
▽第71回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト全国大会（７/22～25）
【テレビドキュメント部門】準々決勝出場
針の落ちる未来
【ラジオドキュメント部門】準々決勝出場
スケルツァンド　ピアニスタ
▽第48回全国高等学校総合文化祭（清流の国ぎふ総文2024）放送部門（８/２～４）
【オーディオメッセージ部門】
よう，おい，木遣りやろうよ
制作代表：島倉　優月（３C・宮内中）

■演劇部
▽日本大学付属高等学校演劇研究発表会（８/17・18）
「塾の話」　作：諏訪　朝花（２E・桜川中）
日本大学芸術学部演劇学科賞（第２位）
▽東京都城西地区大会（９/15・16）上演

■吹奏楽部
▽第60回東京都高等学校吹奏楽連盟定期演奏会
High School Band Festival 2024　出演（６/９）
▽第60回東京都高等学校吹奏楽コンクール（８/13~14）
Ｂ組　金賞・最優秀賞
Ｃ組　銅賞
▽アンサンブルフェスタ2024　開催（９/23）
▽第57回「ゴールデンパレード2024」　出演（10/20）

■バトントワリング部
▽鶴ヶ丘祭　演技披露（６/23）
▽第57回「ゴールデンパレード2024」　出演（10/20）

■料理部
▽料理検定・菓子検定実施（６/７）
▽鶴ヶ丘祭　チョコパイ調理＆販売　800食（６/22・23）
▽鶴ヶ丘祭　料理部考案TFT丼販売　194食3,880円寄付（６/22・23）
【鮭の南蛮丼、彩とり鶏親子丼、トマトの麻婆豆腐丼】
▽食品加工実習　@生物資源科学部（８/１）
【ソーセージ：粗挽き、レモンパセリ、チーズ入りバジルチキン】
【レトルト食品：豚の角煮、サバ味噌】
▽陶芸体験　@チルコロ駒沢店（８/26）
▽NU style日本大学広報　No.817 掲載（10/１発行）
▽体育祭　マドレーヌ提供　300個（10/31）

第28回校内英語スピーチコンテスト

令和６年６月15日（土）、本校多目的ホールに於いて第28回校内英語スピーチコンテストが開催されました。各々が思い入れのあるテーマを題材に、４分間の英語スピーチに挑戦しました。コンテストの結果は以下の通りです。

第１位　３I　渡邉　　心（花園中）
Can you ask for help?

第２位　１G　劉　　世銘（中国上海市閔行区七宝第三中）
Infinite World in Your Hands

第３位　１J　河原　美稀（牛込一中）
If There Were No Mosquitoes

審査員特別賞
２E　江口　舞弥（桶川中）
Life with music

なお、第１位に輝いた渡邉さんは、令和６年度日本大学付属高等学校等第43回英語スピーチコンテストに、本校の代表として参加しました。







小針（こばり） 大輝（だいき）君、横浜DeNAから育成ドラフト指名に！

10月24日（木）に行われた2024年プロ野球ドラフト会議におきまして、本校３年Ｉ組の小針大輝君が横浜DeNAベイスターズから育成ドラフト１位で指名を受けました。

〈小針君からのメッセージ〉

たくさんの方々に支えられてプロ野球選手となることができました。これからも感謝の気持ちを忘れずに取り組んでいきます。鶴高で３年間培ったものを大切にして１日でも早く支配下契約を勝ち取り、チームの勝利に貢献できるように頑張っていきます。これからのご声援をよろしくお願いします。



部活動報告

■スキー部
▽夏期遠征プラスノーキャンプ（８/19 ～ 21）
丸沼高原スキー場

■野球部
▽第106回全国高等学校野球選手権大会西東京大会（７/13～17）
３回戦　本校13－０狛江（７回コールド）
４回戦　本校０－２駒大高
▽秋季大会１次予選18ブロック（９/７～21）
１回戦　本校17－０国分寺（５回コールド）
２回戦　本校10－０南平（５回コールド）
※18ブロックＢ代表
▽秋季東京都高等学校野球大会（10/６）
１回戦　本校３－５日大三

■男子バスケットボール部
▽全国高校総体東京都予選
２回戦　本校50－75都立美原
▽第９支部大会（９/15～９/16）
本校62－43杉並学院
本校33－76実践学園
本校67－45堀越
本校50－29文大杉並
※全体５位（15校参加中）

■女子バスケットボール部
▽関東大会都予選（４/14～５/５）
２回戦　本校62－47穎明館
３回戦　本校51－98都小平西
▽全国大会都予選（５/12 ～６/23）
１回戦　本校71－50和光
２回戦　本校49－65都国立
▽夏季大会（８/17～８/20）
１回戦　本校19－54鷗友学園女子

■男子バレーボール部
▽関東私立高等学校男子バレーボール選手権大会（７/22）
１戦目　本校１－２成田
２戦目　本校０－２日大
３戦目　本校２－１国際学院
▽夏季私学大会（８/15）
２回戦　本校０－２岩倉
▽全日本選手権大会１次予選（８/20）
１回戦　本校２－０中大附属
２回戦　本校１－２都駒場
▽日本大学付属大会（８/26~27）
【１日目　予選リーグ】
１戦目　本校０－２日大山形
２戦目　本校０－２日大三島
３戦目　本校２－１日大藤沢
【２日目　順位決定戦】
２回戦　本校２－０日大東北
３回戦　本校２－０日大習志野
決　勝　本校２－１日大
※付属全体順位　９位
▽９支部大会（９/１）
１戦目　本校２－０中大杉並
２戦目　本校０－２東京立正
３戦目　本校０－２専大附属
▽杉並区民大会（９/23）
【Ａチーム】
２回戦　本校２－０國學院久我山
３回戦　本校２－０都西Ａ
決　勝　本校２－０東京立正
【Ｂチーム】
１回戦　本校２－１都杉並
２回戦　本校０－２東京立正
※Ａチーム優勝

■アメリカンフットボール部
▽東京都秋季大会兼第55回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会予選（９/８～９/15）
１回戦　本校54－12堀越
２回戦　本校12－29駒場学園
※東京都ベスト16

■女子ソフトテニス部
▽城西地区大会（８/10）
ベスト８　萩原　史緒（２H・清明学園中）・
土屋　麻希（２J・落合中）
ベスト16　宮川夏菜子（１C・茗台中）・
田口　真衣（１C・国分寺一中）

■バドミントン部
▽関東大会東京都予選（４月）
女子団体　東京都ベスト16
▽全国高等学校総合体育大会西東京都予選（個人）（５月）
女子ダブルス　ベスト16
長尾　歩実（３J・調布七中）・
浜田　三咲（２I・文京一中）
▽東京都私立中高協会第９支部大会（８月）
女子団体　優勝
▽新人戦Ｉ部大会（複）西東京大会（８月）
女子　ベスト24
新井　萌乃（２J・練馬中）・浜田　三咲
▽新人戦Ｉ部大会（単）西東京大会（９・10月）
男子　ベスト32　山田　祐士（２B・松沢中）
女子　ベスト24　堀口　幸音（２I・佃中）
女子　ベスト32　新井　萌乃

■剣道部
▽東京都高等学校秋季剣道大会（８/21）
１回戦　本校－科学技術学園（３勝１敗１分）
２回戦　本校－正徳学園（３勝２敗）
３回戦　本校－清瀬（３勝１敗１分）
４回戦　本校－国学院（３勝２敗）
５回戦　本校－早稲田（１勝３敗１分）
※男子団体Ⅱ部　ベスト８

■ウエイトリフティング部
▽第57回関東高等学校ウエイトリフティング競技大会（６/８～９）
男子67kg級　トータル174kg　10位
水内　壱城（２A・駒留中）
男子81kg級　トータル210kg　10位
小川　隼麻（３E・滝野川紅葉中）
男子89kg級　トータル238kg　４位
中川　颯真（３A・瑞雲中）
男子96kg級　トータル237kg　１位
稲葉　啓太（３D・品川学園）
男子+102kg級　トータル180kg　６位
佐久間伶音（２C・恩方中）
女子55kg級　トータル148kg　１位
尾形　薫子（３E・花小金井南中）
女子59kg級　トータル120kg　１位
宇佐美優香（３C・荏原第六中）
男子団体　６位　女子団体　３位
▽全国高等学校総合体育大会　ウエイトリフティング競技大会（2024/８/２～５）
男子81kg級　トータル219kg　18位　小川　隼麻
男子89kg級　トータル235kg　９位　中川　颯真
男子96kg級　トータル242kg　６位　稲葉　啓太
女子55kg級　トータル153kg　３位　尾形　薫子
女子59kg級　トータル131kg　12位　宇佐美優香
▽第78回国民スポーツ大会　ウエイトリフティング競技会（2024/10/６～10）
男子89kg級　トータル235kg　６位　中川　颯真
男子96kg級　トータル247kg　５位　稲葉　啓太






第１学年







第２学年








第３学年